

【県実施分】学力調査結果の分析による具体的改善策 2年

1 学習到達度調査結果概要

《偏差値》

R6年度（今年度）結果		
国 語		
全体	知識	活用
51	50	53
社 会		
全体	知識	活用
49	49	49
数 学		
全体	知識	活用
50	50	49
理 科		
全体	知識	活用
51	51	50
英 語		
全体	知識	活用
52	52	51

目標値を下回った問題（県値を下回った問題）のうち特に課題が見られたもの2つ

国語	①漢字の部首についての理解 ②話の内容を捉え、自分の考えをまとめる
社会	①日本の姿（領海と領空についての理解） ②中世の日本（建武の新政、御成敗式目、鎌倉時代から室町時代までの歴史の流れ）
数学	① 比例・反比例（関数についての理解） ② 空間図形（おうぎ形の面積を求める）
理科	① 気体の性質 ② 音の性質
英語	① 長文の読み取り ② 3文以上の英作文

2 総合質問紙調査結果概要

※肯定的回答の割合（「学びに向かう力」に関連）

質問事項		R6年度結果
教科などの勉強はどれくらい好きですか。	国語	83.3%
	社会	72.2%
	数学	61.1%
	理科	55.6%
	英語	66.7%
教科などの授業はどれくらい分かっていますか。	国語	100%
	社会	88.9%
	数学	77.8%
	理科	94.4%
	英語	94.4%
クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。		77.8%
あなたは、ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか		88.9%

3 具体的改善策

① 2学期から着手する学校の**組織的な学力向上の取組の改善策**（焦点化・重点化1～2点）

- 5教科の授業で、毎時5分間ドリル（Qubena）を実施する。
- 6限目後のドリルタイムでは Qubena を中心とした基本的内容の定着と新研究による入試対策に取り組み、特に C の生徒に対して見守り、直接指導を行う。

② 2学期から着手する**授業改善・学習定着状況の把握・補充学習の改善策**（目標値・県値を下回った問題内容を中心に行うものを絞って1～2つ）

	授業改善	学習定着状況の把握	補充学習
国語	○漢字書き取りプリント漢字（毎日） ○考えをまとめる小作文（週末課題）	○1週間に1回漢字テスト ○添削 良い作文の紹介（共有）	○補充プリント ○再度やり直す。
社会	○ 地図資料や文献資料等を読み取り、まとめるグループ学習の時間を設定する（できるだけ毎時）	○ データベース（ドリル）の活用（授業の振り返りや家庭学習課題） ○ 単元テストの実施	○ データベース（フォローアップやチャレンジ）の家庭学習への活用
数学	○授業開始5分間問題の内容の見直し	○小テストの実施 ○データベースやキュビナの活用	○データベース（フォローアップ）の活用、キュビナの活用 ○週末課題
理科	○活用問題を授業に取り入れる。	○小テストの実施 ○課題の記述内容の確認	○補充プリント ○テストのやり直し
英語	○キュビナの問題を活用 ○単元終わりに、3文以上の英作文を課す。	○正答率が低いところを全体で共有し、解説。 ○ロイロノートを使って添削する	○キュビナの問題を活用 ○フォローアップシート問題を再度、家庭学習で課す。

4 1月日田市実施分学力調査（令和7年1月）の目標値

学習到達度調査

《偏差値》

1月日田市実施分学力調査（令和7年1月）目標値								
国語			社会			数学		
全体	知識	活用	全体	知識	活用	全体	知識	活用
51	52	54	50	50	50	51	51	50
理科			英語					
全体	知識	活用	全体	知識	活用			
51	52	50	50	50	50			